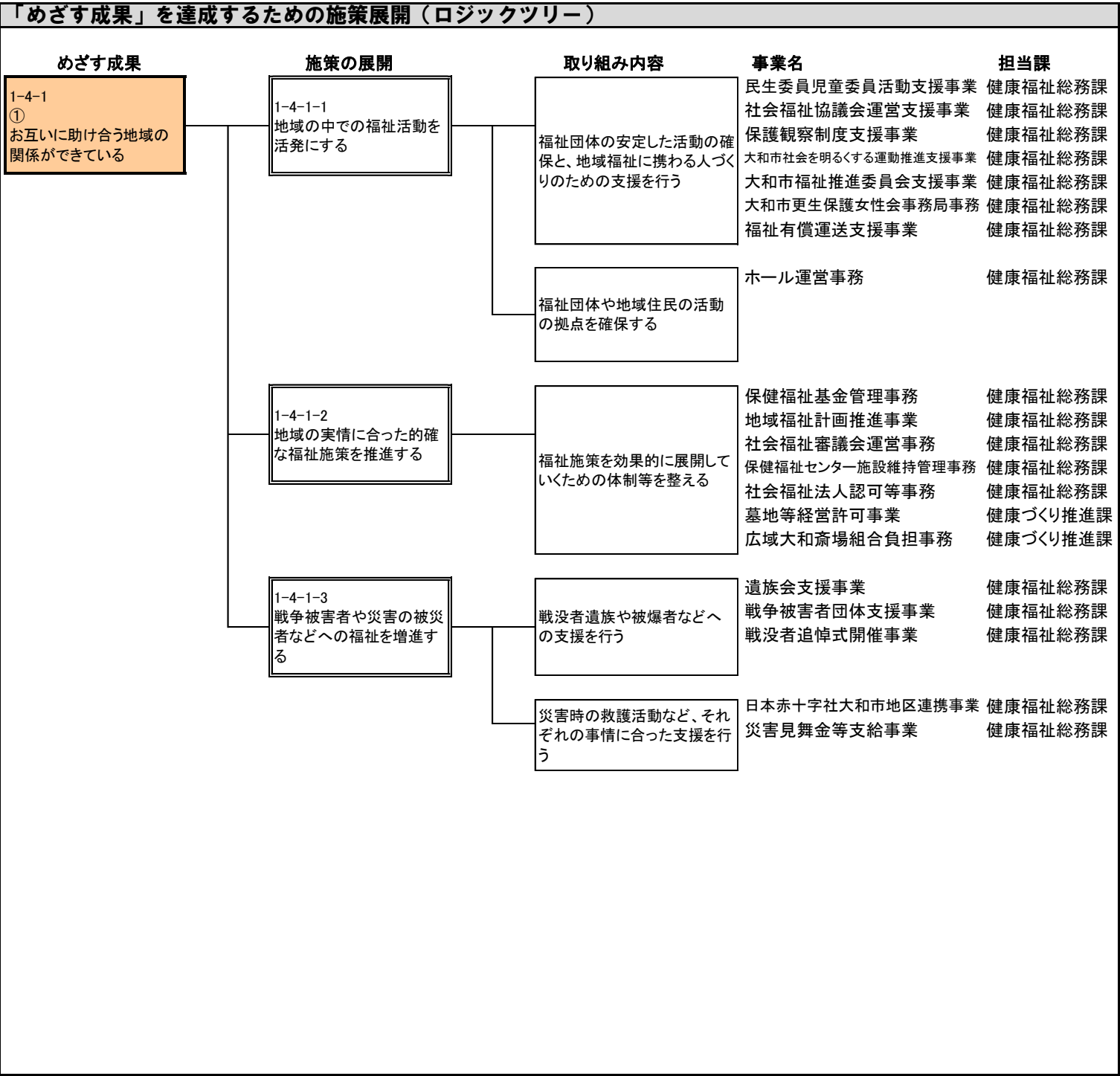


平成28年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
1-4-1 お互いに助け合う地域の関係ができています		
総合計画体系	健康領域・基本目標	人の健康・一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち
	個別目標	助け合う福祉のしくみづくりを推進する
	めざす成果	お互いに助け合う地域の関係ができています
		日頃から、近隣の人たちのコミュニケーションがとれていて、困ったときにはお互いに助け合う関係ができています。



所 管 部	健康福祉部	
平成27年度までの 取り組み内容	【地域の中での福祉活動を活発にする】 ・民生委員児童委員協議会や、福祉の心の育成と啓発を目的とする福祉推進委員会に対して、補助金の交付や事務局としての人的支援を行い、自主的な活動を促進しました。 ・保健福祉センターホールを、福祉関連の講演会や講習、高齢の方や障がい者のスポーツ、その他一般市民の幅広い利用に供し、平成27年度は61,151人の利用がありました。 【地域の実情に合った的確な福祉施策を推進する】 ・第4期地域福祉計画の進行管理を行い、つながりを生み出す地域づくりの推進を図りました。 ・大和斎場で火葬を適切に実施しました。 （大和市分火葬件数 H26；1,757件、H27；1,746件） 【戦争被害者や災害の被災者などへの福祉を増進する】 ・戦没者遺族や被爆者などの戦争被害者の団体に対して、補助金の交付などの支援を行うとともに、戦没者遺族に対し弔慰金の受付、県への送付等の事務を行いました。 ・大和市戦没者追悼式を開催し、136人の参加がありました。	
構成事業に対する考え方 （事業の量及び実施手法）	・平成28年12月の民生委員児童委員の一斉改選の際には、適正な人数を確保できるよう努めます。また、民生委員がスムーズに活動するための研修等の実施・支援を継続します。 ・地域での交流やつながりを更に深めていくために、大和市社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、福祉推進委員会などの活動を引き続き支援していく必要があります。 ・複雑化する地域社会に関する課題や、低下する共助の機能を改善するために、第4期地域福祉計画に基づく取り組みが着実に展開されているかについて、地域福祉計画検討委員会にて検証します。 ・戦争被害者や戦没者遺族の高齢化が進み活動が縮小傾向にあります。が、引き続き各団体への支援を実施し、戦没者追悼式への参加をはじめとした活動に結びつけます。 ・火葬需要の増加に適切に対処するため、斎場整備等を含めた対策の方向性について、組織市（大和市、海老名市、座間市及び綾瀬市）で共通認識を得るための協議を重ねていく必要があります。	
注）例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。		
今後の展開方針		
新規事業の立案		（該当する事務事業）
既存事業の拡充	・墓地等に対する市民意識調査を実施します。 ・斎場組合の組織市による協議回数を増やしていきます。	（該当する事務事業） ・墓地等経営許可事業 ・広域大和斎場組合負担金事務
事業の廃止・縮減		（該当する事務事業）
事業の効率化		（該当する事務事業）
その他見直し		（該当する事務事業）

成果を計る主な指標	指標の名称	前期基本計画			後期基本計画			
		計画策定時（H20）	最終目標値（H25）	実績値（H25）	実績値（H26）	実績値（H27）	中間目標値（H28）	最終目標値（H30）
	① 地域に支え合う人のつながりがあると思う市民の割合	36.6%	43.0%	43.2%			44.0%	46.0%